

2015年度 行事開催報告



報告：会員交流企画委員会

ニュービジネス取組企業視察会

「伝統と最先端が共存する二つの企業から、新規事業の創出・活性化のヒントを得る」

開催日：2015年8月4日（火） 8時30分～17時
視察先：鍋屋バイテック会社、ツキオカフィルム製薬株式会社
参加者：26名

8時30分に名古屋商工会議所をバスで出発し、車中では自己紹介を行うなど、会員企業の交流時間として有意義に活用しつつ、鍋屋バイテック会社とツキオカフィルム製薬への視察会がスタートした。

10時に最初の視察先【鍋屋バイテック会社】本社・関工園に到着。

鍋屋バイテック会社は1560年創業の歴史ある会社でありながら、ハイテク部品の開発に乗り出すなど積極的なニュービジネスを展開しており、プーリーの分野ではトップシェアを誇る企業に成長している。また、2007年にはテレビ番組“カンブリア宮殿”でも紹介されている。

到着後、関工園の食堂に通にて取締役の岡本 友二郎様より、会社の説明を頂いた。

会員からの積極的な質問にも快く回答頂き、テレビでは知り得ないお話を伺いながら、非常に有意義な意見交換ができた。



食堂でご説明を頂いた後、生産現場としての機能と公園の快適さを融合した“工園”と呼ばれる工場内を見学させて頂いた。

斬新なデザインの建物、整理された工場内、笑顔で明るく挨拶をしてくださる社員の皆様から多くの刺激を受け充実した見学となった。

鍋屋バイテック会社を出て、関市の【植野屋】にて昼食。

関市名物の鰻を使った昼食を頂きつつ、関市観光協会の皆様にお越し頂き、普段気がつかなかった関市の魅力について教えて頂いた。



午後からは各務原市にある【ツキオカフィルム製薬 株式会社】本社・フィルム事業を視察。

ツキオカフィルム製薬は 1966 年に特殊印刷である箔押の会社として創立したが、長年培ってきた箔押の技術を基礎に食用純金箔や水溶性可食フィルムを開発しフィルム製剤業に進出。優れた技術力が評価され、近年は文部科学大臣表彰・ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞などを受賞する企業へと成長している。

フィルム製剤の生産ラインは、まさにニュービジネスと感じられるもので高度な滅菌処理が施されているため多くを見る事は出来なかったが、生産ライン見学後は小池社長自らにご説明頂き、可食フィルムやフィルム製剤の可能性などの話に留まらず、現在進行中の具体的な案件や課題・開発内容までご説明頂き、CNB 会員の深い理解に繋がった。



また、この視察にはテレビ愛知の撮影スタッフも入り、後日視察内容の一部がニュースコーナーで放映され、CNB の活動が広く世間に知られる事となった。

帰りのバス内でも参加者の交流が行われ、今回の視察会に関して意見を交換するなどお互いの関係性を深めた。

視察会後のアンケートでは視察先に対して 98%の方々から“満足” とのお答えを、64%の方々から“自身のビジネスにつながりそう” とのお答えを頂き盛況のうちに視察会を終える事ができた。